

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】平成 25 年 8 月 22 日 (2013.8.22)

【公開番号】特開 2012-56593 (P2012-56593A)

【公開日】平成 24 年 3 月 22 日 (2012.3.22)

【年通号数】公開・登録公報 2012-012

【出願番号】特願 2010-200478 (P2010-200478)

【国際特許分類】

B 6 5 D 81/26 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 81/26 J

B 6 5 D 81/26 R

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 7 月 9 日 (2013.7.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

蓋材と、前記蓋材がシールされる底材とを備える包装体であって、
前記蓋材および前記底材の少なくとも一方は、酸素を吸収するフィルムからなり、
前記包装体内部の酸素濃度は、前記蓋材が前記底材にシールされたときの前記包装体内部の初期酸素濃度の 0 % 以上 50 % 以下の値まで減少した後、前記初期酸素濃度の 0 % 以上 50 % 以下の値を推移することを特徴とする包装体。

【請求項 2】

前記包装体内部の前記酸素濃度は、前記蓋材が前記底材にシールされたときから 10 日経過したとき、前記包装体内部の前記初期酸素濃度の 0 % 以上 50 % 以下の値まで減少する請求項 1 に記載の包装体。

【請求項 3】

前記包装体内部の前記酸素濃度は、前記包装体内部の前記初期酸素濃度の 0 % 以上 50 % 以下の値を 20 日以上推移する請求項 1 または 2 に記載の包装体。

【請求項 4】

前記包装体内部の前記酸素濃度は、前記包装体内部の前記初期酸素濃度の 0 % 以上 50 % 以下の値を 30 日以上推移する請求項 3 に記載の包装体。

【請求項 5】

前記包装体内部の前記酸素濃度は、前記包装体内部の前記初期酸素濃度の 0 % 以上 20 % 以下の値まで減少した後、前記初期酸素濃度の 0 % 以上 20 % 以下の値を推移する請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の包装体。

【請求項 6】

前記包装体内部の前記酸素濃度は、前記蓋材が前記底材にシールされたときから 10 日経過したとき、前記包装体内部の前記初期酸素濃度の 0 % 以上 20 % 以下の値まで減少する請求項 5 に記載の包装体。

【請求項 7】

5 の環境下で前記包装体内部の酸素を吸収する請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の包装体。